



平成 28 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 木 徳 神 糧 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 平 山 惇
(コード番号 : 2700)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員
管 理 部 門 長 稲 垣 英 樹
電 話 番 号 0 3 - 5 6 3 6 - 1 5 0 1

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 12 月期（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1株当たり連結純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	101,000	1,100	1,080	680	80.17
今回発表予想（B）	101,000	1,380	1,380	980	115.54
増減額（B－A）	0	280	300	300	
増減率（％）	-	25.5	27.8	44.1	
（ご参考）前期実績 （平成 26 年 12 月期）	106,099	1,131	1,089	683	80.56

2. 修正理由

連結業績予想については、国内の平成26年産米の販売単価が予想以上に下落しているものの、米穀事業における国産米の販売数量もミニマム・アクセス米の取扱数量も前年を上回る水準で推移しているため、売上高は前回発表予想の通りと見込んでおります。

また、営業利益と経常利益については、主力の米穀事業において販売、製造、仕入の連携強化を図りながら、中食や外食向けの精米・玄米販売の拡大、仕入手法の多様化の推進、販売コストの削減、在庫管理の徹底等に注力したことが奏功したほか、採算悪化が続いていた鶏肉事業が大幅に改善したため、前回発表予想を上回る見通しです。

さらに、当期純利益については、営業利益と経常利益による増益効果に加え、遊休資産の売却による特別利益の計上により、前回発表予想を大幅に上回る見通しです。

（注）本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。さらに業績に影響が生じる場合は、判明次第お知らせいたします。

以上